

論文審査結果の要旨

氏 名：山元 恵子

学位の種類：博士 (危機管理学)

学位論文名：経鼻栄養チューブ挿入のリスクマネジメントと教育システムについて

審査委員 (主査) 藤谷 登

(副査) 坂本 尚史

(副査) 田中 良

(副査) 三宅 洋 (春日部市立医療センター)

本論文は、医療の臨床における経鼻栄養チューブの挿入と、看護・介護の現場で実施されている経管栄養の安全な実施に向け、実験的研究に加え臨床調査を行い、医療安全対策の実施を目的とした論文である。

国内の経鼻栄養チューブの挿入と経管栄養に関する死亡事故報道、及び日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業では、16年間で28件の死亡事故が公表されている。本論文では、経鼻栄養チューブの挿入と栄養剤の注入手技に分けて解明を行っている。前者では、栄養チューブの不適切な部位への挿入を防ぐための事前対策の一つは挿入長さの予測である。注入した経鼻栄養チューブの適切な長さは、胃内容物の吸引の可能位置である。成人ボランティアを用いた臨床実験から検証を行った。その結果として、適切な挿入チューブの長さの目安は、身長 (cm) $\times 0.3 + 10$ cm の概算式を新たに解明した意義は優れている。さらに、安全性を高めるため、栄養チューブが適切な部位に挿入されていることを、注入直前に行う観察と確認手技が重要である。本論文では、医療事故例から事故の発見の契機を分析し、実施すべき直前の観察と確認のコンテンツの開発を行っている。これらは、医療事故における安全対策について有益な提言であり価値ある博士論である。

本論文はリスクマネジメントおよび医療事故の両面から検討を加え提言を行っており、学位授与の趣旨に合致した優れたものと認められ、博士 (危機管理学) の学位を授与するに値するものと考えられる。

論文審査にあたっては、本学学長を含む教職員や学生ばかりでなく、一般にも公開された公聴会を経て、学外委員を含む審査委員による口頭試問を行い、山元恵子氏に博士 (危機管理学) を授与することが決定された。